

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2019024

プロジェクト名 防災教育関連の絵本を作ろう！

プロジェクトの概要

様々な自然災害(台風、地震、洪水、噴火など)の被災者から体験談を聞き、それを基に絵本にする。絵本にしたものを使用し、その災害を知らない子供たちに読み聞かせ会を行う事で、防災教育にはずみをかけることを目的としている。本年度は2018年9月に発生した北海道胆振東部地震を対象としている。

プロジェクトの結果・成果

本プロジェクトの結果としては、絵本は完成したが、2、3月に行う予定であった読み聞かせ会が、新型肺炎の影響で止むを得ず中止する運びになった。

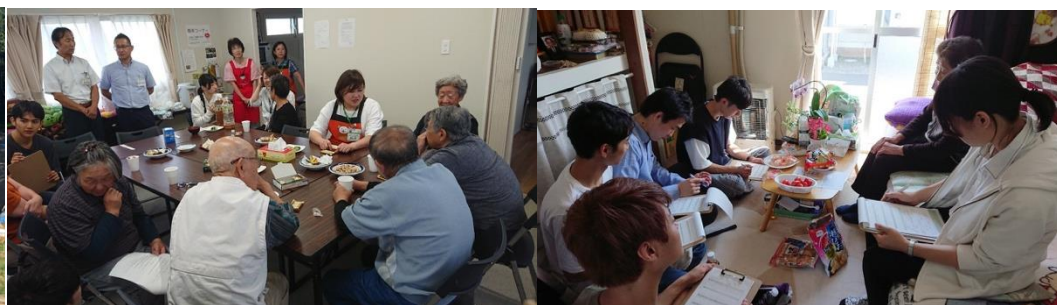
本プロジェクトは5月初頭に他学部との顔合わせを行い、概要や目的、今後の年間スケジュール等の打ち合わせを行った。その後、月1回程度でミーティングを行い、絵本の内容や調査する場所、ヒアリング内容等の打ち合わせを行なった。8月下旬に芸術学部3名と生産工学部2名の計5名の学生で、北海道調査を実施し、厚真町、安平町の仮設住宅団地や発災当時の爪痕が残る被災地を回り、北海道胆振東部地震で被災された方々からお話を伺った。絵本の基となる貴重なお話を伺うことができ、その後、絵本の構成、テイスト、ラフ等のミーティングを行い、絵本完成までに至った。最後に、本学の学生課に協力していただき、絵本を90冊程度印刷して、日大の全学部や付属校の図書館に置かせていただく予定である。

成果としては、私たちが考えていた絵本が、ものになって完成することができた。読み聞かせ会は、新型肺炎の影響で中止せざる得なく、子供たちへの防災教育にはずみをかけるまでには至らなかったが、これは今後の課題とする。また、他学部と一緒に協力し、目的を達成させるためにはどうしたらいいか、調査を行うまでのアポの取り方、被災者にどのような質問をしたら絵本の構成のヒントになるかなどといった、社会に必要である知恵や知識が、本プロジェクトで学ぶ事ができた。大変貴重な体験を行う事ができた。

活動写真



当時の爪痕



ヒアリング調査の様子